

令和５年度第１回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和５年８月１９日（土） 午後１時３０分 ～ 午後３時３０分	
開催場所	山城支所別館ホール	
担当議員	班代表者	福井 平和
	司会者	玉川 実二
	報告者	谷口 英子
	記録者	野田 えり、山崎 光祐
	班員 (上記以外)	大角 久典、長岡 一夫
参加人数	１１人	
主な質疑・意見等	Ｑ：なぜ、専任の水道管理者を置く必要があったのか。また、下水道料金の値上げの根拠は。 Ａ：これまで部長がその職を代理してきた。しかし今後、水道の広域化や老朽管の更新など色々な整備計画や外部との対応が発生してくるであろうことから、特別職として専門的に置く必要があると判断した。 また、料金の値上げは、物価高騰の折でもあり、議会でも議論を重ねたが、長期的に設備の老朽化に備えた整備更新のため必要であると判断した。 Ｑ：なぜ議員からの発議で副市長２人以内の提案がなされたのか。予算や人事は市長の専権事項であるから、市長が提案するものではないのか。他の自治体で議会側からこのような発議がなされたことはあるのか。 Ａ：予算はあくまで、行政側から提案があつてからのことである。今回は２人以内とする改正であるため、現状の１人でも可である。その場合、新たな予算は発生しない。また他の自治体で、議会が発議している例はある。 Ｑ：副市長を２人以内にする発議についての提案理由が全く理解できない。河井市長時代は副市長１人体制だったが、具体的に不具合があったか。賛成意見にあった「臨機応変な事態へスピード感を持って対処」という意味が分からない。 Ａ：副市長が１人増えるという事は、貴重な税金をさらに使うということなので、費用対効果が出るように議会として注視したい。	

Q : 副市長を 2 人以内にすることは、誰も公約として入れていなかったのに、突然に提案され、可決された。仮に副市長が 2 人になれば、多額の費用がかかる。議会の責任で増やしたのだから、議員定数を 2 人減らすくらいのことをやるべきでは。

A : 人件費が増えても、それだけのリターンがあれば問題ない考える。

また先ほどの副市長の案件と、議員定数削減とは、関連しないので、お答えは差し控える。

Q : 人口減少の問題解決や出生率を上げるために、全国の色々なケースから学んで活かして欲しい。またエネルギー政策や財源の確保のためにも、色々知恵を出して考えて欲しい。

A : 婚活に関しては京都府がプログラムを行っており参考にしていきたい。また木津川市は自主財源比率が 4 割と全国平均より低いので、自主財源を確保していく必要を感じている。

Q : 出生数減少はやはり経済的な側面が強いと思う。明石市など成功例をぜひ参考にしてほしい。また精華町が今秋から 18 歳までの医療費を無償化する。なぜ木津川市ではできないのか。

A : 予算との兼ね合いもあるので厳しいところではあるが、ぜひ無償化実現に取り組んでいきたい。

Q : コミュニティバスの運行について、山城地域から祝園方面への延伸の請願が、4 年前の選挙前に全会一致で可決されたが、全く進んでいない。高齢者の買い物難民が増加している。加茂地域も過疎地域に指定されている。議会としてコミュニティバスの利便性を上げるよう取り上げてほしい。また請願が全会一致で可決されたことの重みをどのように考えているのか。

A : 全国のバスの路線の 8 割が赤字である。バス事業は行政としてもアンケートで住民のニーズを把握するとしている。無人路線バスも実用化までもう少しのところまで来ている。請願が全会一致で可決されたことの重要性を意識して、住民の利便性向上のために尽くしていきたい。また、請願についての取り決めも議会基本条例等を確認して進めていきたい。

(請願の結果は、全会一致ではなく賛成多数で可決でした。)

Q : 消防署の山城出張所の廃止問題について、地域住民への説明会がなされていないことについて、どのようにお考えか。

また当初、廃止とされていた山城出張所が突然、当面の間存続となった。そのあたりの経緯は。

	A：計画中の国道２４号線バイパス（城陽井手木津川バイパス）の完成後、実際に走ってみて可否を判断することになったことにより、説明会の実施は見送られた。バイパスから山城地域への接続路整備の関係もあり、完成後の運用状況を見ながら存廃を考えることになったという事だと考える。 また消防組合の管理者、副管理者である木津川市長、和束町長も新しい方が就任された。今後の推移を見守っていきたい。 Q：救急救命に際して、時間と救命率を表した「カーラーの救命曲線」を基に考えると、木津西出張所管内への救急車の到達時間が、新消防本部からだと致命的ではないか。 A：ご指摘を有難く拝聴すると同時に、人命にかかわることなので、心肺蘇生の方法やＡＥＤの使い方などの救命講習の周知を含め、住民の皆さんと一緒に考えていきたいと思う。 Q：賃上げ、特に中小企業の賃上げについての見解を。また年金、特に国民年金のみの年金生活者への市独自の給付金について。 A：今後、ご意見を参考にしていきたい。
主 な 質 疑 ・ 意 見 等	
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	
そ の 他 特 記 事 項	

上記のとおり、報告します。

令和５年９月８日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和５年度第１回議会報告会

第１班 代表者 福井 平和